

かながわ発、私のアクション宣言



はじめよう！一人ひとりのアクション

2018年、神奈川県は全国に先駆けて「かながわプラごみゼロ宣言」を出しました。その後、行政だけでなく、企業、大学、市民団体などが立場を越えて協力し、「3R+Renewable」の取り組みが広がっています。今すぐにできることだけでなく、「こんなことをしてみたい」という将来の挑戦を描くことも大切です。また、既に活動を始めている仲間たちが、どのような経緯で取り組みを始め、どのような思いをもって続けているのかを知ることで、行動のヒントが見えてきます。次に紹介する実例も手がかりに、プラスチックごみ問題に対する皆さんのアクションを考えてみましょう。



探究の道しるべ

課題解決の方法とは？

▶ [ここをクリック！](#) または p.09 の一覧表を参照

つめかえパックの行方は？産官学民連携のしげんポスト

鎌倉市で展開されている「しげんポスト」は、使用済みのつめかえパックを回収し、水平リサイクルで再びパックをつくらったり、アップサイクルで地域に設置されるベンチ等の公共物に生まれ変わらせる取り組みです。

▼つめかえパックを入れる様子



▼しげんポストの参加方法



しげんポストは、花王株式会社の「リサイクリエーション」という取り組みにプラスし、面白法人カヤックなどの企業や鎌倉市、慶應義塾大学や鎌倉市民の協力により発展を続けてきました。主に地域住民が積極的に参加することで、ごみを資源として捉える意識の醸成が進んでいます。

▼アップサイクルの事例 (左)プランター (中)ベンチ (右)ポスターフレーム



▲写真提供:リサイクリエーション慶應鎌倉ラボ

探究の道しるべ

事業計画をつくるには？

▶ [ここをクリック！](#) または p.09 の一覧表を参照

ファンと企業が協力？ガンブラリサイクルの歩み

ガンブラリサイクルプロジェクトは、プラモデルを製造するバンダイナムコグループが、大量のプラスチックランナー（枠）が廃棄される現状を受けて始まった、ランナーを回収・再資源化する取り組みです。店舗に専用ボックスを設置し、使用済みのランナーを回収します。集められたプラスチックは新しいガンブラの素材として再利用され、循環の輪が形づくられます。プロジェクト初年度の2021年度に目標の10tを上回る11t、2022年度に約21t、2023年度には約40tのランナーを回収しました。

▶ [ワークシート](#) タスク 01-02



▲出典:株式会社BANDAI SPIRITS, “ガンブラリサイクルプロジェクト”, <https://www.bandaispirits.co.jp/hobbycenter/recycleproject.html>, (2025-11).

参考Webサイト

ガンブラリサイクルプロジェクト

▶ [ここをクリック！](#) または p.10 の一覧表を参照